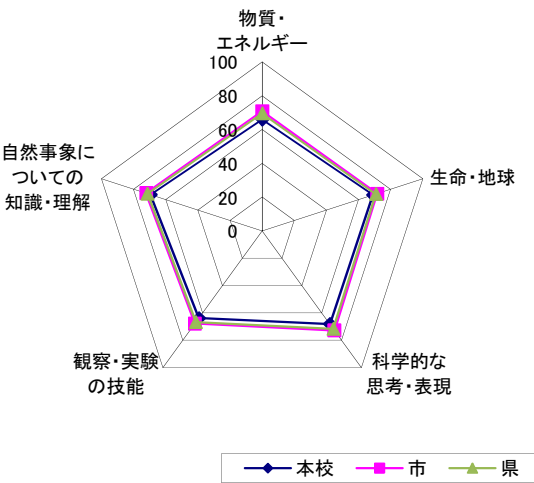


宇都宮市立御幸が原小学校第5学年【理科】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	物質・エネルギー	66.0	70.8	69.5
	生命・地球	69.0	71.5	70.8
観点	科学的な思考・表現	68.2	72.8	71.7
	観察・実験の技能	63.8	67.8	66.8
	自然事象についての知識・理解	69.5	72.3	71.4



★指導の工夫と改善

○良好なもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
物質・エネルギー	領域の正答率は66.0%で県平均より3.5ポイント低く、市平均より4.8ポイント低い。 ○2個の乾電池の直列つなぎの問題がよくできた。 ●閉じこめた空気を圧すときの、体積や押し返す力の問題や空気と水を一緒に閉じこめたとき、それぞれが押し縮められるかどうか考える問題の正答率が低かった。 ●空気や水を温めたときの体積の変化の問題の正答率が低かった。 ●水が沸騰したときに、水中から出てくるあわが水蒸気であることの問題の正答率が低かった。	・自分たちの生活に結び付けて、事象を考えるようにする習慣を身に付けさせるよう指導していきたい。 ・物質・エネルギーの領域を指導するに当たっては、予想を立てて実験を行い、考察をする学習を重点的に指導することで、科学的な思考を高めていくようにしたい。
生命・地球	領域の正答率は県平均と市平均と同じ傾向にある。 ○人の体のつくりと運動、季節と生物、天気のように、月と星については、市や県の平均とほぼ同じ傾向にある。 ●気温を正しく測る問題において、正答率がかなり低い傾向が見られた。	・実験などの実際の活動を重視するだけでなく、インターネットなどの映像資料を活用して、具体的なイメージが持てるようにし、知識の定着を図っていくようにする。